

「第2回日英バラスト軌道ワークショップ」について

平成26年11月21日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

去る2014年10月16日に、英国スコットランド・エディンバラにて「第2回バラスト軌道のメンテナンスに関する日英ワークショップ」が開催されましたのでお知らせします。

日本と英国は、どちらも大陸に比べて地盤が軟弱で、バラスト軌道の維持管理上の問題についても共通する課題が多くあります。そこで、日本と英国におけるバラスト軌道の研究者が定期的に情報交換を行い、主にバラスト軌道に関する基礎研究分野を活性化させるとともに、保守効率化に向けた日英でのプロジェクトテーマの可能性を模索するため、2013年11月に鉄道総研において第1回の日英ワークショップが開催されました。

第2回となる今回のワークショップは、英国スコットランド・エディンバラのヘリオット・ワット大学において開催されました。英国から6大学、日本からは3大学およびJR東日本、JR西日本、鉄道総研の研究者が講演および聴講に参加し、バラストの力学特性等の基礎研究の他、軌道検測や脱線に関する調査報告などの幅広いテーマで講演やディスカッションが行われました。なお、今回の基調講演は日本が担当しました。

今回のワークショップを主催したヘリオット・ワット大学のピーター・ウッドワード教授は「このワークショップは、2012年に北海道で行われた交通地盤工学国際会議に私が参加した時に、鉄道総研の提案を受けて発足した。2回目となる今回は、ここエディンバラに日本と英国の多くの鉄道研究者に来て頂いて大変感謝する。今後とも交流を続けましょう」と述べました。

次回のワークショップは、2015年に日本で開催される予定です。



ワークショップの様子

【開催概要】

開催日：2014年10月16日(木)

場 所：ヘリオット・ワット大学 (Heriot-Watt University、英国スコットランド・エディンバラ)

基調講演

「鉄道総研における最近のバラスト軌道に関する研究」：

鉄道総研 軌道技術研究部 軌道・路盤研究室長 桃谷尚嗣

「寒冷地の交通施設に使用する粒状材料の要素実験」：

北海道大学教授 石川達也

一般講演者 (12件、発表順)

ジョアノ・ポンボ教授 (ヘリオット・ワット大学)、長沼光研究員 (鉄道総研)、クリブ・ロバーツ教授 (バーミンガム大学)、早野公敏教授 (横浜国立大学)、ルイ・ル・ペン博士 (サウサンプトン大学)、クリスチャン・イワノフ博士 (ニューカッスル大学)、アンドリュー・ドーソン准教授 (ノッティンガム大学)、岡安崇史准教授 (九州大学)、デビット・コノリ博士 (ヘリオット・ワット大学)、サイモン・イウニッチ教授 (ハダースフィールド大学)、須江政喜研究員 (JR東日本)、小木曾清高研究員 (JR東日本)